

施策番号	448	施策名	地域情報化の推進	令和5年度主管課名	くらし安全課
総合計画 体系	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	令和5年度課長名	松本 博巳
	関係課名	総合福祉課	くらし安全課	シート作成者	森田 城生

1. 施策の対象と意図の指標

①施策の対象(誰、何が対象か)	③対象指標(対象の数・規模)	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ア 町民	→ ア 人口	人	見込値 実績値	12,497	12,358	11,627 12,116	11,455	11,280
イ 町内事業所	→ イ 事業所数	所	見込値 実績値	555	555	490 493	490	490
ウ	→ ウ		見込値 実績値					
②施策の意図(対象をどうしたいのか)	④成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ア 地域格差なく必要な情報が迅速に入手できる	→ ア 高速インターネットを接続している町民の割合	%	目標値 実績値 達成率	72 68.2 94.7%	74 68.8 93.0%	76 75.2 98.9%	77 97.7%	78 96.4%
イ	→ イ 日頃高速インターネットを利用している町民の割合	%	目標値 実績値 達成率	90.5 93.8 103.6%	91.0 91.1 100.1%	91.5 91.4 99.9%	92.0 99.3%	92.5 98.8%
ウ	→ ウ		目標値 実績値 達成率					
エ	→ エ		目標値 実績値 達成率					
⑤成果指標 設定の考え方	地域情報インフラの整備状況をインターネット接続している世帯を測定することによって、地域情報化の指標とした。	⑥成果指標の 把握方法と 算定式等	町民アンケート結果					

2. 施策の役割分担

施策成果向上 に向けた 住民と行政との 役割分担	①住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	②行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
	高速インターネットを日常生活(業務)や事業に、積極的な利用に務める。	・高速インターネットの利便性の啓発と利用促進を呼びかける。 ・快適な生活環境づくりに向けてインフラの利活用を検討する。

3. 評価結果

5 年度 の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景・要因
	①施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か?その要因は?)
	高速インターネットに接続している町民の割合、高速インターネットを利用している町民の割合は、ほぼ目標値どおりとなった。 ☐ 目標値を上回る ☒ 目標値どおり ☐ 目標値を下回る
	②成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?)
	2024年3月末でADSL(電話回線を利用したインターネット通信)が終了しました。大手キャリア事業者の光ファイバー網は鏡野町内には整備されておらず、町で整備しているFTTHへの乗換えもあり実績値は増加した。 ☒ 向上した ☐ ほとんど変わらない ☐ 低下した
	③他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)
	全国的にも光ファイバーの整備率(世帯カバー率)は、99.84%と高くなっている。岡山県では情報ハイウェイが整備されており、県内全域を対象とした情報通信ネットワークが構築されている。町ではH25からPFI方式により鏡野町地域情報通信施設整備運営事業により鏡野地域にFTTHを整備し、町内全域にサービスの提供が可能となり、利用環境は進んでおり、利用料も安く設定している。 ☒ 高い水準 ☐ ほぼ同水準 ☐ 低い水準
	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など
	国では、デジタル田園都市国家構想が掲げられ、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指しており、高速、大容量通信の普及によりスマートシティや遠隔医療なども進んできている。
	3. 施策の振り返りと総括 (5年度の事務事業や取組の成果は?うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)
	①施策の成果向上につながった主な事務事業 鏡野町有線テレビ施設経常管理費 ②施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業 広報経常管理費 ③施策全体の振り返りと総括 一昨年より新規加入時の工事負担金を減額したことで、ADSLの終了に伴う乗換で、加入者は増加傾向にあるが、更なる加入促進に繋がるような広報が不十分だった。 4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?) ①今後施策の成果向上につなげる主な事務事業 鏡野町地域情報通信施設整備運営事業 ②施策全体の今後の課題と改革改善の方向 高齢化や、人口減少、過疎化が進んでおり、地域の特性やニーズに応じた柔軟な対応が必要であり、町内に張り巡らされている光ファイバー通信網を、インターネット通信のみならず福祉や農業分野などにも有効的な活用をすることにより、快適な生活環境作りを目指すとともに、定住促進や町内事業所の収益拡大など様々な方面での活用に努めていきたい。また、情報インフラの強靱化や告知放送に変わる情報伝達手段も検討していきたい。